

## 1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間（週4時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができます。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

## 2. 保護者アンケートの結果

- ・生徒とALTの先生が直接会話する時間を増やしてほしい。
- ・子どもたちがアウトプットする時間を増やしてほしい。
- ・英語Cの授業時間を増やしてほしい。
- ・英語の授業と英語Cの授業内容をはっきりと区別して、よりコミュニケーションの力をあげるような授業をしてほしい。
- ・ネイティブの先生を授業の前面に出してもらって、日本人の先生とネイティブの先生の会話をもっと見せてほしい。
- ・All English Dayを決めて、その日は日本語を話さずに英語だけで過ごすせないような日を作ってほしい。
- ・近くに阪大外国学部があるので、交流すればよい勉強になると思う。

## 3.今後に向けて

今後は、クラス全体への説明や生徒への指示などはALTが中心になって進めていくような授業展開を行っています。また、授業だけでなく、行事などさまざまな取り組みを通して、生徒とALTとが直接会話をできる機会を増やしていきます。校内の英語教諭とALTとの協働や、相互の授業見学などを通して、英語Cによって生徒のコミュニケーション能力がより高められるような授業づくりを行っています。